



議会だより

発行 片品村議会

No. 145

2015. 7. 21

かたしな



片品村初の
女性議長誕生！

主 な 内 容

- ◆ 初議会開催、議会構成決まる（第3回臨時会）…………… 2～4
- ◆ 6月議会で決めたこと…………… 5
- ◆ 一般質問（4名）で村政を問う、各委員会審査…………… 6～10
- ◆ 村民の声、議会活動…………… 11～12

初議会を開催 ～議会構成決まる～

5月13日開催の平成27年第3回臨時会では、新議長に星野千里議員、副議長に入澤登喜夫議員が選出され、各常任委員会の委員長・副委員長そして委員が選任されました。

また、工事請負契約の締結、専決処分の承認、固定資産評価員の選任、監査委員の選任、等が提案され、いずれも原案どおり可決しました。



＝議長あいさつ＝



片品村議会議長
星野 千里

歴代議長のなかで、女性議長は初めてということですが、皆様の期待にそえるよう誠心誠意努力いたします。

地方創生の時代を迎え議会の果たす役割が、益々重要となっています。

また、全国に先駆けて光輝く村として発展していくためにも、村民のための開かれた明るい村議会運営に努力、傾注していく所存です。

常に村民の皆様と対話を重ね、その結果に基づく政策の実現を目指す議会であるよう、議員一体となって取り組んでいきます。

今後とも、皆様の温かいご指導ご支援をお願い申し上げます。

＝副議長あいさつ＝



片品村議会副議長
入澤 登喜夫

この度、副議長に就任させて頂くことになりました。

議長の補佐役として二代表制の議会の役割が重要となる中、議員相互の連携を図り、国が今年から進めていく「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に取り組み、人口減少・地方創生を実現すべく努力をし、片品村の発展の為、職務を全うしたいと考えておりますので、今後も皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げ就任の挨拶とさせていただきます。

総務文教常任委員会

◎千明 道太 ○萩原 正信 星野 逸雄
星野 精一 梅澤 志洋 高山 悦夫

＝就任のあいさつ＝

村民皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

5月の臨時会におきまして、委員各位のご推挙をいただきまして総務文教常任委員長に就任いたしました。

地方創生に向けた、まち・ひと・しごと創生に取り組むとともに、所管事項に一層精励し議員職務全うに努めてまいります。

今後とも、村民の皆様のご指導・ご協力をお願い申し上げ、就任の挨拶といたします。
(委員長 千明 道太)



観光産業常任委員会

◎星野 栄二 ○後藤 眞平 入澤登喜夫
星野 千里 今井 功 千明 勉

＝就任のあいさつ＝

暑さ厳しい時節、皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

この度、5月臨時議会におきまして、委員各位のご推挙をいただき、観光産業常任委員長に就任いたしました。

村を取り巻く社会情勢、厳しい経済状況の中、議会の果たす役割と意義は重要であります。

微力ではありますが、議員各位、村民のご指導をいただきながら、活気ある安心・安全で住み良い村づくりのため鋭意努力してまいります所存であります。

今後とも皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。
(委員長 星野 栄二)



議会運営委員会

◎星野 精一 ○今井 功 千明 道太
星野 栄二 萩原 正信 後藤 眞平

＝就任のあいさつ＝

行政との適切な緊張感を保ちつつ円滑な運営を心掛けます。

「迅速」と「活発」をテーマとしてより開かれて時代に呼応する議会となるように努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

(委員長 星野 精一)



人 事

利根東部衛生施設組合議会議員

星野 千里、今井 功、千明 道太
星野 栄二、萩原 正信

片品村監査委員の選任



戸丸 廣安氏 (菅沼)



入澤登喜夫氏 (越本)

片品村固定資産評価員の選任

金子 賢司氏 (東小川)

専決処分

- ・群馬県市町村総合事務組合規約の一部改正協議
- ・片品村税条例の一部改正
- ・片品村国民健康保険税条例の一部改正

工事請負契約

- 村道越本・花咲線 法面崩落対策工事
- 契約金額 金 70,200,000 円
- 今井工業株式会社

6月議会定例会で決まったこと

平成27年第4回片品村議会定例会（6月議会）を6月5日から12日までの8日間にわたり開催しました。

「平成27年度一般会計補正予算」「繰越明許費繰越計算書の報告」「片品村教育委員会委員の任命」等が提案されました。

議会は、予算説明会、各常任委員会を開催し本会議で審議のうえ、全ての議案を可決しました。

平成27年度 6月補正

（単位：千円）

会 計 名	補 正 額	補 正 後
片品村一般会計補正予算（第1号）	73,956	4,265,956
片品村営観光施設事業特別会計補正予算（第1号）	(収益的収入) 11,700	112,686
	(収益的支出) 11,700	112,601
片品村介護保険特別会計補正予算（第1号）	歳入予算振替による	526,915

児童館用地取得について

平成27年度一般会計補正予算（第1号）について、こんな討論がありました。

反 対

「発言者 星野 精一」

取得予定地は片小との連携においては優れているが逆に言えばそこしかメリットがない。片小～片中までの保育所付近に置くことで異なる世代交流をする。役場付近にて道の駅構想があるが賑やかな国道と子育てエリアとの適切な距離が必要ではないか、以上の理由でこの場所の用地取得に反対する。

賛 成

「発言者 今井 功」

賛成の立場から討論します。今年度より、子育て支援策としての取り組みを強化し過去にないほど、幼児の利用が増加しているとのことです。現在の児童館は昭和57年に建築したもので老朽化が著しく、今年4月に施行された子育て支援法に基づく「子育て拠点」としての機能を満たすことが出来ないと危惧されることです。計画している用地取得場所は、小学校にも近く児童の安心・安全を最優先に考え好ましい場所と考えます。

主な繰越明許費

(単位：千円)

項目	事業名	金額
総務費	地域住民生活緊急支援交付金	94,275
農林水産業費	大規模野菜経営体育成支援事業	10,537
	被災農業者向け経営体育成支援事業	2,243
	林業経営作業道整備交付金	1,140
土木費	塗川橋架替工事	177,120
	塗川橋積算施工管理業務委託	4,398
	三松橋長寿命化対策工事	119,880
	三松橋積算施行管理業務委託	4,329
	細工屋橋橋梁補修設計業務委託	17,172
消防費	防災マップ作成業務委託	864

人事

片品村教育委員会委員

星 美弥子氏（再任）、井上 隆至氏（再任）、芝崎 健司氏（再任）

都市との交流を進める 特別委員会



◎梅澤 志洋 ○星野 逸雄 他議員全員が委員

＝就任のあいさつ＝

この度6月定例会において「都市との交流を進める特別委員会」の委員長に就任いたしました。

地方自治体にとって少子高齢化、人口減少問題、地方創生事業など問題が山積しております。このようなときに様々な都市との交流を進めながら片品村の知名度アップを推進し、今後の村のために活かしていきたいと思っております。

村民の皆様、各委員のご指導、ご協力お願い申し上げます、就任のあいさつといたします。
(委員長 梅澤 志洋)

議会広報編集特別委員会

◎星野 精一 ○今井 功 星野 千里
星野 逸雄 高山 悦夫 千明 勉



＝就任のあいさつ＝

「議会だより」は村民の皆さんと議会をつなげる一番太い糸です。できるだけ「正確に」「わかりやすく」「はやく」をモットーに編集をしていきますので一年間よろしくお願いいたします。

(委員長 星野 精一)

村政を問う!

般質問



入澤 登喜夫 議員

一、人口減少対策について

問 基本的な対策はどう考えているか。

答 (村長)

平成23年度スタートの第3次総合計画、後期基本計画にのっとり人口減少は喫緊の課題と位置づけ、若者の雇用創造に向けたシンボルプロジェクト事業を掲げ取り組んでいます。現在策定中の第4次総合計画や片品村の総合戦略づくりでしっかりと取り組んでいきます。基本的な対策の考えとしては、

① 村内における安定した雇用を創出する。

② 片品村への新しい人の流れをつくる。

③ 若い世代の結婚、出産、子育ての支援や希望をかなえる。

④ 時代に合った地域を作り、安心な暮らしを守るとともに、村全体を活性化させる。

以上四点を基本に取り組んでいきます。

問 住民はこのことに關して認識はどうか。

答 (村長)

今を好機と捉え、片品村が将来も輝く村であるため、村民の英知を集結し、将来をしっかり視野に入れ、ぶれることなく着実に取り組む必要があります。議員の皆様をはじめ、村民の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

問 人口減少の歯止めの対策はどうか。

答 (村長)

片品村は将来も、輝

く村であるため若者の雇用創造に向けた取り組みを行い、食、温泉、歴史文化、自然、人情を磨き特色ある地域づくりにより村の魅力を高めた村経済の発展につなげ、雇用の安定をはかります。

国からの交付金を活用し、総合戦略策定事業、村中心地・活性化事業、農林業活性化事業、外国人観光客誘致促進事業、移住・定住促進事業、観光振興事業、子育て・暮らし相談窓口設置事業、起業支援・雇用支援等を進めます。

(入澤議員)

人口減少の歯止めの対策としてお答えをいただいた。今から始めても直ぐに効果が現れるものでない。そうかと言って遅れる事は村としても避けたい。小さくても輝く村、そして小さくても存在する村を目指し、将来を見据えた施策の執行をお願いしたい。

二、村営住宅の現状と今後の対策について

問 村営住宅の現状について、どのように把握し、どのような対応をしているか。

答 (村長)

建築はA・B棟は昭和55年、C・D棟は昭和56年、E棟を昭和62年に建設し20戸となっております。現在入居者は16世帯であります。

近年の改修状況は平成21年に合併浄化槽を設置し全棟水洗化されています。平成22年には、玄関、車路の入口

1階の改修工事を行いました。それ以降は、軽微な改修のみです。

問 今後の対策(改築・新築)は考えているか。

答 (村長)

経年劣化による老朽化が一段と進み、改修工事の経費もかさみ、耐震化の問題もあるため、新築と空家の活用を中心に考えています。

三、空き家対策について

問 国土交通省が空き家対策特別措置法の5月の全面施行を前に全国自治体に指針案を示したと聞いているが村の意見は。

答 (村長)

多くの引き合いや問い合わせをいただいておりますが、空き家登録の物件が少ないのが現状です。村でも空き家の実態調査を行い、情報収集に努めています。

また、措置法で定める事が出来ることされる空き家対策計画、組織できるとされる協議会の設置など、調査、検討をすすめています。

問 空き家対策特別措置法の全面施行後の村の具体的な対応はどのようなものか。

答 (村長)

村民や若者等、移住者への斡旋、紹介の実施、移住者向けに地方創生予算を活用したりリフォーム改修費補助金制度などの充実化などを検討しています。

(入澤議員)

空き家は使用出来る家と、危険を伴う空き家との2点に分かれるが、利用可能な空き家については、所有者と話し合い活用を考えた、危険な空き家に対しては、立入調査、行政代執行など強制力を利用して処置する等と考え、村内の各区からの情報提供を利用し対応してもらいたい。



村営住宅

村政を問う!

一般質問



千明 勉 議員

一、橋梁整備について

問 細工屋橋の補修補強工事の予定が、学校橋の補強工事に変更された理由は、

答 (村長)

細工屋橋が予定されていたが調査の結果、橋の耐荷重が著しく低いことが判明し、新橋の建設のほうがり工費が節約出来ることから計画を変更し、橋の架け替えを進めていきたいと考えています。

国の補助金が決定したので代替え施工を検討した結果、穴沢地区の学校



改修工事を行うことになった学校橋

橋の改修工事を行うこととしました。

問 今後の手順は。

答 (村長)

27年度、下部工の補強、補修を行い、28年度上部工の補強、補修を行います。

問 欄干のガードレールを周囲の景観に配慮する考えがあるか。

答 (村長)

塗川橋のような景観に配慮した高欄にしたいと考えています。

一般のガードレールにつきましては維持管理、除雪等の兼ね合いもあるので個別に検討いたします。

二、観光客誘致について

問 日光市側からの誘客について。

答 (村長)

観光、農業の村として、また地方創生の観点からも経済人口を増やす点でも極めて重要と考えています。

問 日光側との交流についてどのような取り組みをしているか。

答 (村長)

行政間の交流で金精峠の年間開通を目指して双方が協力し

あうことを確認してあります。群馬県及び栃木県の支援をいただき、国への要望を両者で行いました。ロマンチック街道沿いの市町村が連携協力することも確認しています。その一つの成果が日光と片品が一つになったパンフレットを作成しました。

問 片品はインターチェンジや駅から離れてい

ますが、広範囲に見れば一大観光地の日光の隣であり、大勢の人が住んでいる首都圏の近くでもある。それらを踏まえた今後の取り組みは。

答 (村長)

農産物の販路拡大や新商品の開発研究、交流拠点のかたしなや、収穫祭の開催など誘客を視野に入れた事業を今後も実施していきたいと考えています。

交流拠点施設としての道の駅の整備を図り、世

界遺産の日光と富岡製糸を結ぶ広域観光ルートの要として、また尾瀬の玄関口として、片品村の発展を考えています。

問 国際化への対応と外国人観光客誘致について。

答 (村長)

これからの片品村の発展を考えたとき、外国人観光客の誘客は必要と考えています。

問 これまでの取り組みと今後の取り組みは。

答 (村長)

台湾をはじめとして外国人観光客受入れ交流事業、外国語観光パンフレット作成、片品村を紹介する英文ブログを作成して世界に発信しています。また、外国人受入れ促進委員会を立ち上げ、誘客プランを検討中です。

なお作成中の総合計画においても、国際化と外国人客促進を強化したいと考えています。

村政を問う！

一般質問



萩原 正信 議員

一、村長の人事権
行使について

問 副村長の人事案件が1月1カ月間、不在の理由は。

答 (村長)

前副村長の任期終了の後さまさまな方のご意見を伺い事務事業の停滞を期さないよう努めた結果、1カ月の不在が生じました。

問 職員の異動について偏り過ぎているように思えるが、多くの仕事を覚えてもらいたい住民サービスがスムーズにできるよう取り組む必要があるのでは

は。今後異動希望をとる予定はあるのか。

答 (村長)

過去2回ほど異動希望をとったことがありましたが、ほとんどの職員からの回答は無記入、あるいは一任、なしでありました。住民サービスがスムーズにできるように総合的に判断し、職員の配置には慎重に対処してまいります。

問 むらづくり観光課に振興公社から派遣で来ているが人事交流等の取り決めはあるのか。

答 (副村長)

振興公社が行っている事業というものは村にかわって代行しているということと密接な関係です。人事交流についての取り決めは行

っております。

問 2月からむらづくり観光課長が不在となっているが、観光立村である片品村として早期にむらづくり観光課長の配置を望むものであり不在となっている理由は。

答 (村長)

地方創生関係、シンボルプロジェクト事業推進など現在の副村長がこれまで担ってきたので、必要な一定の期間副村長の立場でしっかりと取り組んでもらいたいと考えています。

問 管理職への昇格について基準等があるのであれば教えていただきたい。

答 (村長)

課長への任用は村運営にとって重要なことであり人事評価制度やさまざまな方のご意見を伺い総合的に判断

して任用を行っております。

問 むらづくり観光課長を任命できないということとは、前課長を除いてはそれにかわる人を任命できないということか。

答 (村長)

先ほど申し上げましたように、今の事業をより推進するために一定期間空席にして、それを担っていただいているということでご理解のほどお願いしたいと思います。

二、村長の選挙運動
について

問 特別職を含む全ての公務員は、公職選挙法第136条の2第1項の規定によりその地位を利用して選挙運動をすることは厳に禁止されており、特別職である村長の選挙運動のできる範囲、あるいは規制を受けることに

ついて理解されているのかお伺いしたい。

答 (村長)

基本的に法令を遵守、特別職公務員としての自覚のもとに日々村政運営に邁進しています。選挙活動におきましても、制限はありと理解しています。その制限は一般職とは違い、地位を利用した選挙活動を制限したものであると理解しています。



村政を問う！

一般質問



星野 精一 議員

・作る政治から物を活かす政治に変わるために

問 小学校統合後3校の利用は検討中か。

答 (教育長) まだ検討していないが適切に対処したい。

問 これから検討というのはスピードが足りないと思うが。

答 (教育長) 現在使用中ですので、いたずらな不安を持たれないよう、踏み込んだ議論をあえてしないように努めています。

問 10年、20年、30年後の人口をどう予測しているのか。

答 (村長) おおむね人口問題研究所が推計している数値と余り相違はないのではないかと思います。

問 公共建築においてどのぐらいの人口を基準にしているのか。

答 (村長) 現在計画中の中学校につきましては現時点での人口を基準にしています。

整備計画中の児童館の規模の考え方は総合的視点で検討中です。

問 公共建築においてコンパクト化の発想、着想はあるのか。

答 (村長)

人口ビジョンをしっかりと定め、反映させることが必要であると考えます。また空き家既存施設の活用など幅広く検討する必要があります。

問 武尊根小学校は非常に風情のある木造建築なのでロケ地として活用できないか。

答 (村長)

片品村農業観光活性化推進委員会から新たな観光拠点になり得るので検討するよう中間答申を受け今後の検討事項として考えています。

問 教員住宅の今後利用のコンセプトとしてお年寄りや若者が入れる共生型入居が好ましいと考えられているか。

答 (村長)

村内の独居高齢者や地域おこし協力隊の若者など共生型入居について検討していきたいと考えています。

問 鎌田の活性化の際、国道を境にして西を観光エリア、東を行政教育エリアとすみ分けをし骨格の太いビジョンをつくるべきだと思いが。

答 (村長)

第4次総合計画や地方創生の片品版総合戦略並びに将来人口ビジョン策定作業など総合的に考え、中心拠点であります鎌田地区の将来ビジョンを考えていきたいと思えます。

問 藻谷浩介氏の講演料は。講演を聞き何を感ずこれからのむらづくりはどう生かすのかお聞かせください。

答 (村長)

講演料は5万円、交通費は2万円をお渡しいたしました。現在進めているシンボルプロジェクト事業の方向は時代の流れを先行した対策ではなかったのかと感じます。講演の内容等を参考にむらづくりをしっかりと取り組んでいきたいと考えています。



またにも
様々な課題を投げかけた藻谷氏

総務文教常任委員会

協議事項

一、中学校建築

問 どのような校舎を考えているのか

答(教育委員会事務局長) 木造平屋建てで英語のEの字型、4棟のたき台案です。

問 仮設教室について

答(教育委員会事務局長) 駐輪場の所にリース契約で2階建てを中心に考えていますが、より安全な位置を検討中です。

問 建設に関する工程について

答(教育委員会事務局長) 今年度中に実施設計をして、小学校と同じように進めたい。木造なので若干早く完成しそうです。

二、スクールバス運行計画

問 運行路線について

答(教育委員会事務局長) 11路線を11台を使って、小学生・中学生の輸送を考えている。

問 運行便数について

答(教育委員会事務局長) 朝1便と夕方2便を予定している。中学生がいるので夕方3便になるかもしれない。

三、児童館建設予定用地取得及び建築について

問 予定地の取得について

答(保健福祉課長) 前環境省事務所のある所の、村有地の隣接地を収用法の事業認定後購入したい。

問 児童館建設について

答(保健福祉課長) 児童館及び図書室を建てる。



尾瀬ほたか高原スポーツパーク・クロスカントリーコース



片品中学校校舎

答(村長) 村の小学校が統合され、国道横断などの安全面を考えて移転したい。

(委員長 千明 道太)

観光産業常任委員会

協議事項

一、管内視察について

・村内橋梁工事箇所、尾瀬の郷ソーラーファーム太陽光発電所、牧場クロカンコーススタートゴルフ地点の視察を行う。

二、平成27年度補正予算について

・特になし

三、所管事務について

問 クロカンコースのグリーンシーズン(イベント、高地トレーニング)に使用する考えはあるか

答(村長)

現在一部コース整備をしています、今後スタートゴルフ地点を整備し有効活用を考えたい。

問 鳥獣害防止柵の設置状況と今後の予定は

答(農林建設課長)

平成6年度から実

施し、施工延長38kmで対鹿の耕作地カバー率は70%、対猪は20%、今後未設置箇所を先行し、その後猪対策を実施する。

問 昨年度の鳥獣害対策と被害額は

答(農林建設課長)

鹿320頭(内環境省、県が25頭) 猿61頭、熊25頭、猪18頭、カモシカ11頭で、被害額は農業関係360万、林業関係2千180万です。

問 今後の橋梁整備予定は

答(農林建設課長)

平成27年度に学校橋の下部工(橋台、橋脚等)平成28年度に上部工(床版、高欄等)工事を予定している、細工屋橋は平成29年度に調査設計に入る。

超寿命化計画の点検が5年に1回義務づけられているので、結果に基づき順次整備する予定。

問 林業関係に力を入れ雇用を増やす考えは

答(農林建設課長)

緑の県民税事業(市町村提案型)の県のヒアリングを受ける予定。

問 シンボルプロジェクトの核である道の駅の見通しは

答(副村長)

財源確保に努めているが、平成29年度オープンを目指している。

問 花の谷公園から寄居山公園一帯構想で中央公民館は耐震構造でないが

答(副村長)

皆さんの意見を聞きながら交流ゾーン、憩いゾーン、文化ゾーンと考えているが子育て優先で児童館の移動が先決で年次計画、優先順位をもって財源確保を図り実施したい。

問 花の駅でお客さんが1日過ごせることを考えないか

答(副村長)

意見を受け止めて、できるものは検討したい。(委員長 星野 栄二)

議会活動日誌

4月

24日 金精道路開通セレモニー

5月

- 8日 議員懇談会
- 13日 第3回議会臨時会
- 20日 議長杯ゲートボール大会
- 21日 尾瀬山開き
- 24日 婦人会ミニバレーボール大会
- 27日 議長杯グラウンドゴルフ大会
- 28日 議会運営委員会、議会全員協議会
” 片品村商工会通常総会
” 総合計画並びに地方版総合戦略策定意見交換会
” 片品村小中学校PTA連絡協議会総会
- 29日 片品村観光協会通常総会

6月

- 2日 区対抗ゴルフ大会
- 4日 むら・ひと・しごと創生本部有識者会議

- 5日 第4回議会定例会 開会
” 議会全員協議会（補正予算説明会）
” 第1回広報編集特別委員会
- 7日 利根沼田消防ポンプ操法競技会
- 9日 観光産業・総務文教常任委員会
- 12日 第4回議会定例会 閉会
” 第2回広報編集特別委員会
- 13日 武尊牧場「レンゲツツジまつり」
- 16日 武尊山山開き式並びに夏山リフト安全祈願祭
” 片品村小中学校教育研究会総会
- 20日 白根山山開き
- 26日 片品村森林組合通常総会
” 新議員研修会

7月

- 1日 至仏山山開き
” 第3回議会広報編集特別委員会
” 少年の主張尾瀬大会
- 2日 議会と区長との懇談会
” 国・県出先機関事業概要説明会
- 4日 利根沼田地域「まち・ひと・しごと創生事業」シンポジウム
- 22～23日 利根郡町村議員・事務局長研修

発行 片品村議会
責任者 星野 千里
編集 議会広報編集特別委員会
印刷所 笠原印刷(有)



武尊牧場「レンゲツツジまつり」



白根山山開き

○傍聴のお知らせ

9月議会を傍聴しませんか！ 次回定例会は、9月3日（木）の予定です。一般質問は、開会初日です。なお、一般質問の質疑応答（全文）は片品村公式ホームページ（HP）にて閲覧できます。HP掲載写真はフルカラーです。

URL <http://www.vill.katashina.gunma.jp/>

議会広報編集特別委員会

委員長	星野 精一
副委員長	今井 功
委員	星野 千里
委員	星野 逸雄
委員	高山 悦夫
委員	千明 勉

【議会広報編集特別委員会 委員長 星野 精一】

改選後初の定例会が終了しました。村民の皆さんには喜ばしいお知らせがいくつかありますが、その一つは表紙にもなった片品初の女性議長が誕生したということです。今、国をあげて女性の社会参画に推進していますが、制度変更などさまざまな対策を施さなければ、これはなかなか実現しません。そんな中、県下でも唯一の女性議長の誕生は、私たちの村のイメージ発信に大きく貢献してくれると考えます。

二つ目は今回の定例会は傍聴がとて多く、その中でも喜ばしい事に若い世代が目立ったことです。議会は行政のチェック機関でもあります。行政のチェック機能でもありますが、村民の皆さんの皆さんの厳しい視線が村政を健全に運営させます。

「主権村民」の意識をよりいっそう持っていただき、9月定例会にも多くの皆さんに足を運んでいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

編集後記